広報 おぎかわ

2021. 9 . 15　第193号
発行者　荻川コミ協
発行人　横 山 道 夫
電話 （24）５７７６

荻川の人口		
世帯数	7,047戸	
人　口	18,335人	（前年同日比−118人）
男　性	8,889人	
女　性	9,446人	

（2021年7月末日現在）

コロナに負けるな！
3密の原則を守る！

TOKYO 2020 ラグビー女子日本代表 原わか花選手

写真提供：リポビタンD 日本ラグビーフットボール協会

荻川地域・新津第二中学校の皆さん、こんにちは。2014年度卒業生の原わか花です。

オリンピックではたくさんの応援を本当にありがとうございました。勝利という形で感謝の気持ちを返すことができず申し訳ない気持ちでいっぱいです。今、私の心の中はただひたすら、強くなりたいという気持ちで溢れています。

ラグビーをしていると、辛かったり立ち止まりたくなる時がありま す。でも、その時に「一歩」を踏み出し続けることができるか、ということが日常生活の中でもラグビーの時でも、とても大切なことだと私は思っています。雨の日や風の日、辛い日もあると思いますが、一歩ずつでもいいので、それぞれの夢や目標に向かって歩みを止めずに、進み続けて欲しいと思います。

私も今回の東京五輪での悔しさを胸に、世界に勝つ日が来るまで必ず前に進み続けます。いつか、みんなと会える日を楽しみにしています！お互いに夢に向かって、新津二中プライドで頑張りましょう！！

原　わか花

写真提供：新津ラグビースクール

荻川こどもとおとなのプログラミング広場

令和3年7月31日（土）に荻川小学校をお借りして開催されました。

当日は親子14組が参加され、iPadを使って風船割りゲームを作って動かすことに挑戦しました。

今回の企画は、荻川小学校、荻川小学校PTA、地域教育コーディネーターの皆様から企画段階からご協力頂きました。

実施にあたり、参加申し込み、アンケートなどにクラウドサービスを活用できた事も今後の地域活動に参考になりました。

今回は荻川小学校を対象としましたが、結小学校でも開催できたら良いとおもいました。

新型コロナ感染症が広がる中ではありますが、必要な対策をしっかり行った上で少しでもこのような取組をできるように検討を続けていきたいと思います。

文化教養部　田中武則

荻川自治会・町内会長会の解散

平成6年に荻川地区24名の自治会・町内会で荻川地区区長会が設立されました。その後平成19年に荻川地区自治会・町内会長会と名称が変わりました。平成15年には『安全かつ快適で、文化の香る荻川の町づくり』を目的に荻川コミ協会長を中心に26名の自治会・町内会長で『荻川地区協議会』が設立されました。当初は荻川地域の要望事項も多種多様であり、2つの組織で対応して参りましたが昨今、要望事項等の減少もあり会員28名が重複する2つの組織を統合してはとの意見が会員の方々から寄せられ、数度に渉る役員会での協議を経て、6月5日に臨時総会を開催し、『荻川自治会・町内会長会』を解散し『荻川地区協議会』に統合する事が承認され、正式に決定されました。

『荻川地区協議会』新会長には旧『荻川自治会・町内会長会』の五十嵐猛会長が選任されました。

広報おぎかわ第192号発行についての「お詫びと訂正」について

［お詫びと訂正］

本誌、令和3年7月15日、第192号に掲載しております記事中、下記につきましては字句の誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

記

1．県展受賞おめでとうのコーナー（1ページ）
訂正箇所「無鑑査」となられた洋画の木村さん
正しくは「無鑑査」となられた日本画の木村さん

2．百歳バンザイ！のコーナー（1ページ）
訂正箇所　　大正十二年一月に生まれ
正しくは　　大正十年一月に生まれ

3．令和3年度荻川地区自治会・町内会長のコーナー（2ページ）
訂正箇所　　長割町内会
正しくは　　長割自治会

以上のように訂正し、ここに謹んでお詫び申し上げます。

総務・広報部

卓新クラブの皆さん

ド根性ジニア

仲間と楽しいひとときを「荻川やすらぎの間」

地域の茶の間「荻川やすらぎの間」では、健康体操やゲーム、頭の体操などで仲間と楽しいひとときを過ごしています。

「荻川やすらぎの間」は、どなたでも気軽に参加いただけます。

○開催日　毎週水曜日　午後1時~3時
○開催場所　荻川コミセン機能訓練室
○参加費　200円(茶菓代、保険料等)
○お問合せ　荻川コミセン…電話(24)5776

コミセン構内・西公園除草剪定・西公園廻り下水ドロ上げ実施

5月9日(日)環境整備部17名による、コミセン構内・西公園除草剪定・西公園廻り下水ドロ上げ作業が行われました。

令和三年度初めての作業で当日はあいにくの雨模様でしたが、分担しながら効率よく作業が行われ、コミセン構内・西公園内も綺麗になりました。

永年溜まっていた下水のドロ上げも実施され、側溝が溢れることも無くなると思われます。

(環境整備部)

コミセン構内・西公園樹木・403号櫻木アメシロ防除、花壇の花苗植え付け実施

6月6日(日)環境整備部16名による、コミセン構内・西公園樹木・403号櫻木アメシロ防除、花壇花苗植え付け作業が行われました。

参加部員全員で作業分担しながら効率よく作業が行われ、綺麗な花が植えられました。

本館分館外壁は工事中の為、プランターは体育館廻りに設置しました。

アメシロはまだ発生していない様ですが、桜の木の葉っぱの先端が丸まって害虫被害が出始めていましたので防除作業の効果が期待されます。

(環境整備部)

コミセン構内・西公園除草剪定実施

6月20日(日)環境整備部18名による、コミセン構内・西公園除草剪定・昭忠碑廻り除草作業が行われました。

前日の雨も上がりさわやかな天気の下で、分担しながら効率よく作業が行われ、コミセン構内・西公園内も綺麗になりました。また、体育館脇に植えたゴーヤネットの設置も行われました。

(環境整備部)

コミセン構内・西公園一斉除草

7月25日(日)早朝6時より各コミセン利用各団体・コミ協役員・各専門部員など総勢130名の参加により一斉除草作業が行われました。

連日の猛暑とコロナ渦の中でもありましたが、大勢の皆さんのご協力により、コミセン構内・西公園の除草が行われ大変きれいになりました。

参加して頂いた皆さま、早朝からありがとうございました。

(環境整備部)

マツバギク(松葉菊)

一昨年町内会で植えたマツバギクが花盛りです。4月から8月にかけて咲く花で花言葉は「怠惰」「怠け者」「勲功」です。

その由来は、日中の晴れたときにだけ花を咲かせ、夜はもちろん曇りの日でも閉じてしまうため、又、花びらに光沢があり輝くばかり美しく勲章のような花姿のためです。

多年草で耐寒性に強く、水やりもほとんど必要なく一度植えると何年もそのまま育てられます。

荻野町では、一昨年より外周街路樹下の花壇79箇所、公園花壇5箇所の除草を行い各種の花苗を植え、昨年は町内の公園・花壇・歩道等の美化を目標にして「荻野町環境美化ボランティア」を立ち上げました。

6月12日、町内会役員・ボランティア14名で花苗の追加植栽を実施しました。

今後も荻野町を花いっぱいで、明るい町にするため活動して行きたいと思います。

荻野町　曽我　和寿

荻川小学校、地域の方々と語る会

7月16日(金)17時半~18時半で出席者は、学校側出頭校長始め3名PTA会長、コーディネーター3名、学校区の町内会長で一回目の会議を実施しました。

校長先生、PTA会長の挨拶で始まり簡単に本日出席の皆様の自己紹介後、フリートーク形式で行いました。内容は今年の豪雪時の児童の通学路の除雪等、次回には通学路の見直し、他9月ころ2回目の開催予定です。

音楽の昔と今

y.t

私の子供の頃は蓄音機を手回ししてSPレコードの再生からの記憶のスタートです。

その後EP、LPレコード、ソノシートでのステレオ時代の幕開けでした。その他では、オープンリールテープ、車載用の8トラックテープや持ち運びのできるカセットテープも発売され『ウォークマン』で通勤・通学で流行しました。異色のテープではオープンテープと同じテープサイズのLカセットも発売されましたが市場からは直ぐに消えました。

その後4チャンネルシステムステレオが発売、各メーカーのデモンストレーション会場では音が駆け回っていたことを今でもはっきり記憶に有ります。

レコードに代わって次に画期的CD(コンパクトディスク)の発売でした。音域はレコードより落ちますが操作や管理がとても便利で主流になりました。その後、DAT(デジタルオーディオテープ)、MD(ミニディスク)なども出ました。高音質で値段も高価なSACD、ハイクオリティーCDなどがどんどん発売されました。

その後、携帯に便利なiPOD、PCオーディオ(パソコンを通してのオーディオ)ハイレゾ音源でCDよりも音が良いです。代表的なアイチューン、他で有料で音源をダウンロードなど、もっと手軽なスマホでの月額980円~Spotifyを使用してジャンル全て数千万曲を聴けます。

Bluetooth(ブルートゥース)を利用すれば車、家庭でのオーディオに繋げて高音質で音楽をエンジョイできます。貴方はどれで聴きますか?

※色んな用語はパソコン、スマホで検索してお調べください。

荻川地区の福祉について意見交換

7月18日「荻川地域福祉推進連絡会議」(R3・2設立)が開催され、荻川地区の福祉の現状や課題について、活発な情報交換、意見交換が行われました。

今後は年2回程度会議を開催し、荻川地区の福祉の状況やこれからについて話し合うことにしています。

また、「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画」(2021~2026)の推進についても、この会議で協議していきます。

この会議は、荻川地区協議会(自治会長・町内会長)、民生委員児童委員協議会、区老連荻川協議会、コミ協で構成しています。

稲荷神社の覆屋（おおいや）建替えについて

結道祖神社境内にある稲荷神社の覆屋を建替えました。
覆屋とは重要な建物を風雨等から保護するために、それを覆うように建てられた建物をいいます。
上棟式を令和3年7月6日、竣工祭を8月3日に行っております。
建替えた覆屋は、木造平屋建て面積は6.6㎡で、建替え前と同じ規模となっています。
この稲荷神社の歴史は古く、元和（げんな）9年3月15日（今から約400年前で徳川家光が江戸幕府3代将軍に就任した年）に創立され、宇迦（うか）御魂（のみたま）命（のみこと）が祭られています。
今回覆屋を建替えましたが、創立から現在に至る間に建替えがあったかは不明です。
稲荷神社は農耕神であることから、この地域の五穀豊穣を祈願し創立されたものと思われます。江戸時代までは、国民のほとんどが農業に従事していたことから、一般庶民に支持され全国津々浦々まで普及した神社とされています。
歴史あるこの稲荷神社は、結町内の大事な宝ですから、これからも末永く大切に保存していきたいと思います。

田島神明宮の鳥居が完成

田島神明宮の鳥居が老朽化により倒壊の危機にあったため、町内各位の協賛により改築することとし、工事を進めてきました。
この度完成し、6月26日に竣工式を行いました。
この鳥居は築150年（慶応元年）余りが経過し、土台の腐食が進む等、補修では対応しきれないため、危険防止の面からも改築することにしたものでした。

人を育てる

K・Y

かれこれ47年前、高校を卒業し当時の国鉄（現在のJR）に入社しました。当時はオイルショク後の立ち直りで経済も上昇傾向にあり貨物輸送の最前線で最も危険な貨車の連結作業を行っていました。先輩の言うことは絶対という職場雰囲気で、仕事は先輩の身振り手振りを盗め、自分で考えて怪我をするなと、個々の自主性に任せるような感じでした。
JRになり考え方が変わり、新人教育の大切さに重点を置き、OJTリーダーを養成し専任体制での教育を取り入れ、マンツーマンで、一定期間内での独り立ちを目指して教育を行いました。人を育てることは企業が継続する上で欠かせない事の一つだと考えます。
山本五十六の格言に「やってみせ　言って聞かせて　させてみて　誉めてやらねば人は動かじ」とあります。あなたは、後輩とどのように接し教え導いていますか？

ヨットに乗ってます

荻島二　服部　芳雄

穏やかな海面を音も無く滑るヨットに魅せられて、いつの間にかこの歳になりました。柳都大橋の下に並んでいるヨットをご覧になった方もいるはず、その中の1艇です。
ヨットはお金持ちの道楽と思われているかも知れません。当てはまる人もいますが、仲間は皆質素で働き者、理屈屋の集まりです。川の中のアンカーを拾ったり、エンジンをバラしたり、セールを縫ったりしながら、それが楽しいと言い合っています。同じ微風でも頭一つ先になるスピードを目指してメンテナンスしています。これが至福の喜びなのです。
学生時代、小さなディンギーを夏は海、冬は鳥屋野潟で乗るクラブ活動でした。移動はリヤカーと人力だけ…これは今でも笑い話です。その頃はよく映画に出てくる大きなヨットをいつか自分も繰る事が夢だったのです。
退職時にも「次はリオデジャネイロからお便りしますから」等と猛語したのに、覚えていた方にイオンでバッタリ出会ったり、冷や汗をかきながら、世界一周、日本一周をまだ諦められずにいます。特に夏は海。楽しさが増します。この文面では伝えられそうにありませんから、ぜひ私と一緒に海に出ましょう。

八升豆（はっしょうまめ）

こがね町　笹木　信次

八升豆を作り始めて3年目になります。
この豆は「無農薬・無肥料」で栽培できますので、自然農法志向の方には適した作物です。但し、葛のような丈夫な蔓を10mも伸ばし繁茂するので、それに耐える支柱で棚を作りました（写真のとおり）。また、収穫が11月から12月の寒い時期となること、莢が固く豆を取り出すのが手作業になること等が厄介なところです。
この八升豆は、食物から摂取しなければならない「必修アミノ酸9種類」をバランスよく含むこと、神経伝達物質ドーパミンの生成に必要な「L-ドーパ」も多く含んでいると言われており、私達の健康に係わる作物として注目されていると聞いております。
収穫した八升豆はミキサーでパウダー状にして、小さじ一杯をお湯に溶かしお茶代わりに毎朝飲んでおります。いささかでも健康増進に繋がればハッピイ、ハッピイ…。

八升豆（ムクナ豆）
時を超え・復活する・植物の不思議な力
※効果「脳に届く食べ物」
※効能「自然循環農業に利用」
※栄養「必須アミノ酸9種類+チロシン」
詳しくはインターネットでお調べ下さい。

・・・・・・・荻川交番だより・・・・・・・

特道路を渡る時は「渡るよサイン」で伝えよう

昨年の新潟県内の交通事故死者64人のうち、道路横断中の死者は19人と、全死者の約3割を占めています。悲惨な交通事故を防ぐためにも、歩行者の方も道路を渡る時は「手を上げる」などして、運転者に対して「横断する意思」を明確に伝えましょう。横断意思を伝える方法は、「手を高く上げる」他に　○手を胸の前にかざす　○顔や体をドライバーに向ける　○帽子を脱いで会釈する
などがあります。みんなで、交通ルールを守って荻川地区から交通事故をなくしましょう。（今春の「交通の方法に関する教則」の改正により、歩行者から運転者に対する横断の意思の表示に関する記載が明記されました。）

令和3年7月末現在　特殊詐欺被害発生状況

新潟県内	80件	15,432万円
秋葉署管内	6件	330万円　（暫定数です）

令和8年8月27日現在　死亡交通事故発生状況

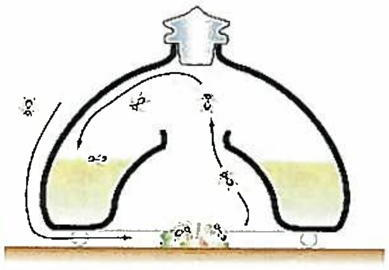
新潟県内	30名（−12）
秋葉署管内	2名（+1）

こがね町「一斉側溝清掃」実施　こがね町自治会

5月16日(日)、早朝7時より「こがね町一斉側溝清掃」を実施しました。当日は薄曇りの中、こがね町各世帯より100名程が参加。昨年はコロナの影響で中止しましたが、今年はコロナ感染防止対策として、全員マスク着用をして実施しました。まずは全員で「こがね公園」の側溝清掃。2班に分かれて手際よく実施。昨年実施していなかったので、泥が多く大変でしたが、みんなで力を合わせて実施しました。その後、各世帯に戻り、自宅前の泥上げに汗を流しました。小さいお子様も頑張って泥をすくい上げてくれました。町内の側溝がきれいになってとても気持ち良いです。みなさん大変お疲れ様でした。　（こがね町環境整備部）

生活民芸品「ハエ取り瓶」　中野一　中野

下に紙や小皿を置いて砂糖や酢・酒などのハエの好物を入れ、容器の中には塩水や米のとぎ汁などを入れます。においに誘われ、びんの下から中に入ってしまったハエが、塩水や米のとぎ汁の中に落ちて、とうとう死んでしまうという仕掛けです。そして上のフタをはずし、中の水ごとハエを捨てます。明治から昭和にかけて使われました。



お知らせ・情報・会員募集コーナー

我が青春　(2)　〔箱根の下り〕

一回目の試走はいきなりトライ、都道府県対抗駅伝では即本番が当たり前だから、気にしないでいたが、下りのヘヤーピンカーブには恐怖を感じる。これも箱根の豪快さだと自分に聴かせるのだが、通常のコースとはかけ離れていてブレーキになり、監督車からのラップタイム等の声が聞こえない。

楽しかったのは二回目の試走であった。元箱根郵便局前まで車で送ってもらい、コースを「よく見てこい」と言われただけ。着の身着のまま自由に登り坂を三キロほどジョギング、振り返ると芦ノ湖の豪華客船がみえる何時か乗ってみたいなと思った。

旧の箱根峠の小径だろうか踏み込むと、日を遮る大杉が素晴らしく"箱根の山は天下の嶮函谷関もものならず、と口ずさんでいた。国道一号線の最高地点・海抜874mの標識が目に付く。そこを過ぎ下り始めると自然と足に負荷がかかる。小涌谷の手前、登山鉄道の踏切があり選手と鉢合わせしても電車の方が待ってくれるという「流石」だなと関心。高校時代に郡市対抗駅伝で一分ほど足止めを食らったことを思い出す。

途中、大平台温泉に聖徳太子が湯浴みしたという記念碑や曽我兄弟の墓などを写真に納めており、歴史には関心があったのだと述懐。テレビ中継で必ず映る湯元塔ノ沢の函嶺洞門では独特の円窓から早川を眺め、「箱根」との名前は元々「函嶺」の「函」からではと考えながら、小田原に着いた。

ところで、箱根に観光にきて二十四キロもの急坂を歩くバカはいないだろうと笑ってしまった。

荻川、夏の風景

文化教養部の文化財調査で偶然出会った、「夏越しの祓」川口、荻島神社にて。

半年詣りともいわれ、6月に入ると、神社では「茅の輪（写真参照）」が設置され、6月30日には「大祓い」という神事が行われます。

年2回行われ、一年のちょうど折り返しに当たる時期に、半年間のたまった穢れ（けがれ）を祓い、清めてリセットし、清浄な状態に立ち返ると言うもの。神社では茅の輪が作られ、参拝して輪をくぐることで、穢れを払うといわれています。

もともと、奈良時代に行われていたようで、「大祓」の儀式については「大宝律令」に6月、12月に行うと定められていたそうで、7世紀頃から行われていたと考えられています。残念ながら時代とともに徐々に行われなくなったようです。

夏越しの祓は、厄災を祓い、無病息災を願うもので、時代とともに衰退していた儀式が、こんな身近な所に残っていたのは驚きと同時に、とてもありがたものだと思います。新型コロナウイルスの収束がなかなか見えない中、無病息災を願いたいものです。

荻川地区には、まだまだ古き良き伝統行事が残っているかもしれません。皆さんも夏の風景を探しに、散歩してみてはいかがでしょう。

編集後記

7月23日、「コロナ禍」での東京オリンピックが幕を開けました。

賛否両論渦巻く中での開催ではありましたが、日本選手の金メダルラッシュで内心「ほっと」する自分（開催賛成）に気付きました。とは言え、心配されていた開催中の感染爆発で、それどころではない医療関係者の人達の事を考えると、日本選手の活躍を手放しで喜んではいられない気持ちにもなります。

そんな中で荻川地区の色々の行事も今年こそはと思いつつ、「感染」の終息どころか、拡大に転じた事により昨年同様、行事の延期、中止が今年も決定されました。

編集部としては、皆さんへの取材、コミュニケーション等に苦心をしている中で「コロナ」前とは多少の変遷を経て、皆さんに読んで貰う為に部員全員で知恵を出し合って記事を作成しています。

今後も編集部の活動にご支援、ご協力をお願い致します。〈H・Y記〉

「広報 おぎかわ」
話題・情報提供のお願い

総務部では読みやすく、より皆様に親しまれる広報作りを心掛けています。

町内会行事など身近な話題、耳寄りな情報やイラスト、写真など気軽に下記へお寄せください。

◆提供先　コミ協事務局（総務・広報部）
TEL 24−5776